

ご家庭でもできる 手指の巧緻性を高める等をねらいとした簡易作業を紹介します。

(高等部の授業「職業」a～bグループで実際に使用している教材が中心となります。また、繰り返し使用できて、ご家庭にもある物や110円で購入できるような教材に厳選しています。)

ねじってはめる はずす 作業

最初は木ねじや容器も硬くて大きいものから取り組む方がやさしいです。慣れてきたら柔らかく小さな物に変えていきましょう。ご家庭にある物でかまいません。写真の教材は、どれも110円で数個購入できます。



(木ねじ)



(大きくて硬い容器)



(醤油さしのような柔らかく小さな容器)



指先の力で 留める はずす 作業

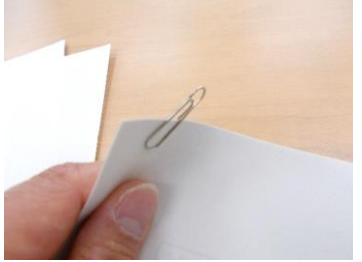
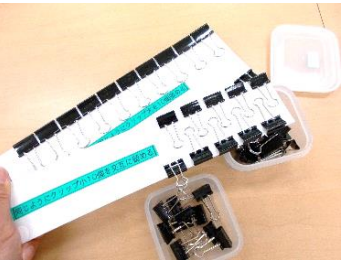
最初は洗濯ばさみの様に開閉が柔らかくて大きいもので、指先の力がついてきたら小さいクリップ等に変えていきます。また、留める厚紙に目印のシールが貼ってあると分かりやすいです。最終的には数枚の紙を揃えて留められると良いでしょう。指先に力が入り器用に使えるようになったら、ゼムクリップで留める練習も良いです。



(洗濯ばさみ)



(大きいクリップから小さいクリップへ)



(数枚の紙を留める)

指定された条件で 袋詰めする 袋から出して分類する 作業

指定された条件とは、赤色を3枚ずつとか、5種を1枚ずつとか、国語や数学の授業で学んだことの実践を兼ねています。数の理解が難しいときは、写真のような補助具を用意します。入れる袋も、指が入りにくい小さな袋に変えていくことで難易度が増していきます。また、袋から出して、同じものに分類する作業も良いでしょう。



(赤色を3枚ずつ)



(5種を1枚ずつ)



(袋を小さくしていく)



(袋から出して分類する)

組み立てる 分解する 作業

ボールペンの組み立てや分解が代表的ですが、難易度も高く興味をもてない生徒も多いものです。難しく考えず、興味をもてるもので、身近に用意や購入できる物で応用するのも一つの方法です。



(割れない柔らかいカプセル)



(消しゴムのブロック)



(プラスチックブロック)



(ボールペン)

紙をあつかう作業

紙をあつかう作業として代表的なものは、A4用紙を三つ折りして封入する作業があります。しかし、一度折ってしまった紙は繰り返し使えませんので、家庭で取り組む簡易作業としては不向きでしょう。

教材を無駄にせず繰り返し使用するならば、A4専用の大きい封筒に折らないようにA4の紙を封入する作業や、5枚ずつクリップで留めていく作業。指サックをして10枚ずつ仕分ける作業などがあります。紙を折ったり破いたりせずに、ていねいに扱えることも、大切な力となります。



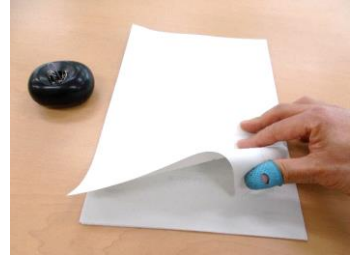
(三つ折り封入)



(A4専用封筒に封入)



(5枚ずつクリップ留め)



(10枚ずつ仕分ける)

また、昨今、高等部卒業生の進路先を見学していると、広告チラシをぴったりのセロハン袋に封入する作業を受注している施設もみられます。薄い広告紙などをていねいにあつかうことが、まだむずかしい生徒には、写真のように少し厚めのチラシをクリアファイルにはさむ作業や、厚めのセロハンで作られているトレーディングカード用ケースに広告カードを入れていく作業などから始めていくと、少しずつ紙をていねいにあつかえるようになります。



(クリアファイルを用いた封入)



(トレーディングカードケースを用いた封入)

さいごに

高等部の授業では、卒業後の進路先を意識して扱う教材を選択していますが、これらの作業を通して、ペットボトルのふたを自分でねじって開けられるようになったり、缶ジュースのふたに指の力を入れて引っ掛け開けられるようになったりと、生活に役立つ力にも還元されていくことを願っています。手指の巧緻性を高めたり、物をていねいに扱うことをねらいとした簡易作業の材料(教材)と言うと、どうしても事務的な用品が思い浮かびがちですが、意外に家庭生活に身近な材料の方が効果的なことが多いので、ぜひご参考にしてください。



(CDを専用ケースに入れる作業)